

うだるような暑さの毎日ですが、皆さん暑さに負けず、トラベラー受け入れなど活動して見えることと思います。さて秋の例会の季節となってきましたので、例会のご案内、そして、参加者13人とにぎやかだった6月例会の報告などさせていただきます。

発行 東海北陸支部長

I・6月例会報告

今年に入り。入会希望者面接、トラベラー認定と立て続けにあり、その中を国内会議、極東アジア会議、東海支部例会出席とあり、本当にあわただしい春となりましたのですが、役員の皆さんに助けられ何とかこなしてきました、その節は、有難うございました。

さて、6月例会は、いつもの、会員牧野さんの、長野県の別荘にて開催されました。いつもながら、大変お世話になりました。今回は、韓国の前サーバス会長、オムさん、それに日本サーバス本部の水野さん、(宿泊例会の醍醐味をあげて、そんな取り組みが、広がることを願って、本部報告をされるとか参加。)九州支部の矢野さんと、サーバス歴うん十年のかたがたをお迎えしてのにぎやかな会となりました、オムさんは、それこそ世界中を旅行された経験の持ち主で、今年も、オーストラリア、中国チベットからヒマラヤ近くと旅されるような計画をお持ちの方で、旅なれてみえるので、会議前日より到着され、昼食準備、キャンプファイアーの準備と、周到な準備をしてくれましたので、当、東海支部会員は、まったくゲストのような参加でした。有難うございました。いろいろなサーバス会員のつながりが広がり交流が増えると、例会の中で、あたかも、国際交流、国内交流がなされているようで、とても、面白い取り組みとなりました。

早速そんな交流の中から、牧野さんが、この9月には、韓国の済州島に出かけられ、韓国サーバスとの交流につながるようです。前向きな、面白い取り組みに発展することは、とてもうれしいことです。

今回長野例会初参加の田岡さん、堀内さんも、とても楽しかったとのことで、次回例会から、ご主人も誘っての参加をしてくださるそうです。うれしいです。また今回、「近くでの例会ですので参加されませんか？」と呼びかけた、旧会員の山本武美さんが、「都合がつかないので、今回は、欠席しますが、来年から、会員に復活します。」とのことでした。山本さんは、今夏、サーバス会員当時に、交流を深められた、イギリス人宅を、1ヶ月近くかけ旅されたそうです。イギリスから、メールをもらいました。とてもうれしい、交流の発展ですね――

次回例会には、これまで参加を見合わせていた、東海支部の会員さんも是非ご参加ください。長野牧野さん別荘のようなのびのびした会場ではないですが……。

Ⅱ・次回例会

日時… 9月29日から30日ゲストをお迎えした前例会が楽しかったということなので、ゲスト参加予定。

場所… 東海北陸支部長 自宅

近鉄伊勢志摩ライン終点駅2つ手前、特急では1つ手前 鵜方駅下車。駅より徒歩7分。絵描きの町大王崎は、すぐ近くですので、趣味のある方は、道具持参でお出かけください。

これまで多くの会員さんの協力を得て、会合を開いてきましたのですが、「もうそろそろ山本もしろ。」との言葉を以前から頂いていたので、やっと孫守りも一段落したので、取り組むことにしました。15年くらい前でしょうか、国内会議を、地元で取りきったこともありましたが、正直、よる年並みには勝てず、まず頭の中にしんどいが先にたちますが、近くの会員さんにも協力を仰ぎ、トライしてみます。その際、10名以上と人数が多くなった場合、どこかホテルを利用していただくか、軽い布団持参で出かけてもらいますが、日程が合えば、近くの外人さん、他支部の方も参加していただく予定ですのでスケジュールのほう調整よろしく願います。

これとおもてなしは、できないかもしれませんが、自然がとてもきれいなところですので、一度お出かけください。

前回、2泊をされてみえた矢野さんたちのアドバイスも頂いて、遠方よりお出かけの方のために、2泊も可としようかな？と思っています。当方は、廃屋ですが、ゆったり話し合える場として頂ければな？とは思っています。

Ⅲ・トラベラー認定

上記のような、忙しいスケジュールの中で、トラベラーのみの認定の方で、短期間に15カ国以上のサーバスリストを要求され、(旧ソビエトから独立した、小国5カ国を含む)当方には、ない旨伝えても、本部まで連絡して探してほしいとの要求が出ましたが、今年のように、トラベラー7名の認定をしなければならないときには、とても、会員外の方に、そこまでの対応は、一応仕事をしながらの、ボランティアの仕事ですので、難しいですので、今後その旨ご理解頂きますよう、どうぞよろしくおねがいします。最近の傾向として、受け入れは、少なくなっているのですが、旅行される方が多くなっていますので、それも夏に、旅行者認定に繁忙を帰しています。4ヶ月前くらいからの認定希望を出してください。よろしく願います。

Ⅳ・国内会議報告

会議報告を同封します。(会員に配布)

報告(1) 東海北陸支部会員 T

ノム、ト〜ウヨ！めっちゃ、めっちゃ暑いですね！お元気ですか？韓国旅行の報告をします。 8/7〜17の10日間の韓国旅行は、以前韓国旅行で知り合ったD-YOUNGのステイ先のコ〜ディネイトのすばらしさのお陰でとても楽しい、おもしろい旅になりました。四家族の家にステイし、それぞれ個性豊かな笑いの絶えない日々でした。その内、慶州のご主人と息子さんは、15日から19日まで静岡、名古屋を旅行する予定で、私たちが東海エリアに住んでいると知りびっくりされました。ステイ先がまだ決まっていないとのことでしたので、ぜひ家にステイして下さるように薦めました。家に帰ってきたのが17日の3時。Mr. Suが最寄りの駅に着いたと電話があったのが7時。17, 18, 19日と再び彼らとすごしました。忘れられない夏になりました。ちなみに、ル〜トは、釜山、慶州、安東、ソウル、昌原 と、高速バスで移動しました。交通費はとても安かったです。名古屋から下関までいき船で釜山に着き、帰りも船で帰って来ました。帰りの船の中では、朝日を見ながら湯槽につかりました。観光だけでなく、その国の人達と語り笑い、文化の違いがあることに驚く事のできるサ〜バスの旅。やっぱりいいねえ〜(^^)

報告(2) 東海北陸支部会員 T

本日 29 日、帰って来ました。サーバスホストファミリーの方達に大変お世話になりました。有り難うございました。報告書です。宜しくお願いします。

8月1日から29日までのほぼ1ヶ月間、私、谷陽子と、同行者の岩田美那子は、フランスはパリを振り出しにベルギー、ドイツ、チェコ、スロバキア、イタリアを訪れました。今朝(日付が変わったので昨日)緑色のドアから重い荷物を持って、曲がりくねった木の階段を下り、一階の大きなドアに付いた鍵を開け外に出ました。パカンスも終わり、スーツ姿の人が足早に歩いて行く道で、ホストファミリーのコラリーとグレゴリーに抱きしめられて「さよなら。」と見送られた事が思い出され、もっと沢山のありがとうを言えなかった事が心残りでなりません。こんなことはこれが初めての体験でした。英語は何とか聞き取れるものの、思った事を全くうまく話せなくて焦るばかりでした。せつかくの機会をもたないことをしたと残念です。それでもこんな私のつたない言葉に耳を傾け、気を配って下さった心優しい方達の、なんとまあ多かつた事か！この旅の目的は、私の仕事である料理研究のためでした。各国の家庭を訪ね、代々受け継がれてきた料理を作っている姿を記録させていただいたり、家庭料理について、またその方の食についての考えを聞かせて頂き、伝統の味についての調査にご協力いただきました。調査結果については、作業をこれから進め、また機会があれば研究発表のご案内を致します。ユーロという共通項ができて、国の距離感が近くなったとはいえ、やはり歴史と文化の違いの重みを痛感する旅でした。なぜ、ジョンレノンがイマジンという曲を書いたのか、その言葉の意味が胸に染みます。アジアの国の中の私の、中国や他の国に対する考えも少しははっきりしました。それどこに行っても、沢山のアジアの方がその国で根を張って暮らしている姿を目の当りにし、私がのんびりしているのは海に囲まれているからかしらとったりしました。ともあれ、この旅で出会ったサーバスホストの方々は、どの方も個性的で魅力的で本当に感動的な旅でした。ありがとうございました。

8/2 フランス パリのコラリーさんとグレゴリーさんの若いカップル この旅初めての訪問先で、緊張していた私をととても温かく迎えて下さいました。夕ご飯に味噌汁とひじきを作りおいしいと言っていただけのこと、コラリーさん家で 伝承されている魚料理とフルーツケーキの美味しかった事！ トランジットのため、長い時間上海空港にいた疲れが癒されました。

8/3 ベルギー ブリュッセルのローブスさんご一家 慌ただしく移動していて、なかなか電話が繋がらず、ブリュッセルに着いてから電話屋さんを見つけて連絡することが…。所が、何と一日前に待っていて下さったというのです。ごちそうを作ったのにないわよ、と言われ早く電話していたら良かった と反省。でも手作りのパンやケーキ、ピザ。何種類ものチーズとビール。そして、夜の町を歩き、歴史的な建築を案内して下さったご一家のパワフルさに感動しました。

8/4 フランス パリのローレントさんご一家 再びパリに移動、エッフェル塔の見える静かな住宅地。エレガントなローレントさんとフローレンスさん、そして息子さんは18歳のかっこ良い若者。ローレントさんは、日本語を考えながらゆっくりと話して下さいました。客間の隣にバスルームもある広いアパートマン。訪れる人の為に、気を使わせないようにと気を配るという、繊細なおもてなしを受けた事を感謝します。フローレンスさんのお料理、夕食の作法もこれがフランス！ と、勉強になりました。

8/6 シュツツツガルトの岩田さんの友人宅

8/8 ドイツ ミュンスターのウテさん、ウーフさんご夫妻 ミュンスターの町の歴史研究家で紋章デザイナーのウーフさんと奥様の元教師ウテさん、日本の70代とはなぜこんなに違うのか、知性があるゆつたりとした時間がありました。人生を楽しむ事を知っているんですね。ミュンスターの町は、落ち着いた雰囲気があり、それでいて、町をあげて最新のアートに対して理解があり、10年に一度ずつの祭典を行っています。300年、400年前の家具を大切に使い続け、最新の食器洗い機や電磁調理器のあるキッチンが赤。大変な時代を生きて来たであろうお二人の前で、お話を理解出来る語学力がない私、本当に残念でした。

8/10 ドイツ ベルリンのクリステアさん アーテストでアートスクールの教師のクリスと彼が迎えてくれ、彼の車で彼女の両親の田舎の家に。お母様に教えて頂きながら、一緒に伝統料理を作り、広いお庭でお友達も交えお食事会。美味しいビール、ダンプリングというポテト料理、子牛料理の美味しい事！ドイツのおふくろの味を満喫した次の日は、ギャラリー巡り。ベルリンのパンクな雰囲気も垣間見たりとなりました。ところが次の日、私達は、駅のレストランでのんびりビールを飲んでいて、予定の列車に乗り遅れてしまったのです。そこで宿をとれば良いものを、遅い列車に乗りドイツ、チェコの国境の駅で野宿することになったのです。駅員さんのドイツ語も全くわからなかった。寒くて怖い体験でした。

8/13 プラハ ペンションに泊まる

8/14 スロバキア ブラチスラバのIさんの友人宅

8/17 ウィーンから飛行機で1時間 イタリアのブエネチアからバスで1時間のアドリアーノさんの家 飛行場に到着して、電話をするが、予定していたサーバスホストからはバカンスで留守だという返事。バカンスシーズンにここに来るのが間違いか。でも、ちょっと離れた田舎町のアドリアーノさんの 農家にたどり着く事ができた。彼はベジタリアンなので料理の味にホッとしました。彼はイタリア語しか話さないなので辞書を引いてコミュニケーション。かわいい3歳の坊やとも少し仲良くなれ、馬、やぎ、にわとりもいて、畑も広くぶどうもなっている(ワインは自家製か) 木作りのすてきな BIO 農家に、ずーと居たくなくなってしまいました。

8/20 イタリア フィレンツェのアンナさん 元教師のアンナさんは、イタリアのマンマと私がステレオタイプで描いていた人そのもの。遅く帰るから食事はいらないと電話したのに、キッチンで待っていてパスタを食べるかと言いついて下さったのです。パスタは前菜、その後メインのお料理が！お腹いっぱい御馳走になりました。

8/23 イタリア パルマのルシエッタさん ヨガの先生の彼女の家は B&B も出来るので、私達が行った日も車で旅をしている人が訪ねて来ました。マクロビオテックの料理を習ったというお友達も交えて、テラスで夕ご飯。彼女の手作りのピザ、オリジナル料理、なすとトマトの郷土料理、私の味噌汁、ひじきと野菜のソテーなど 楽しい夜でした。

8/24 イタリア レッジオエミリア お屋に駅で待ち合わせをして、町を案内して下さったオルセッタさんは、お孫さんのお守りの合間を縫って、車でパワフルにまわって下さいました。この旅で、岩田さんが一番訪ねたかった所、幼児のアート教育の発表を見る事が出来、とても良かったです。その後、夜は、アリエッタさんに会い、若いアーティストの彼女と、お友達の方達と、ピザを食べアイスクリーム を食べ、日本の漫画の話で盛り上がりました。私の息子と同年の人もいて、とても大人っぽくてしっかりした 人達で驚きました。その日は、彼女のおばあ様のかわいい家に泊めていただきました。

8/25 イタリア ミラノのフランチェスカさんとアッキーレさんミラノの建物の大きさ、町の凄さには圧倒されました。有名な観光地には、人がいっぱい、私達はせっかくミラノに来たのにダビンチも見れなかった。天井の高い古い彼女の部屋の庭に座って、夕方、近所の人達のにぎやかな話し声や、ラジオから 流れる音楽を聞き、暑さをしのぎ、夕ご飯には味噌汁とひじきの煮物、レタス、チーズ、クスクス、ラタウユ 生ハムのようなの。メロン。全体にイタリアの味付けは、胡椒は使わず塩がきいていて日本人好みです。

8/26 ミラノからパリに向かう夜行に乗る。

8/27 フランス パリのコラリーとグレゴリーの家 長い旅の最後、ただいまと言いたくなるなつかしい緑色のドアを開け、コラリーが迎えてくれました。コラリーの柔らかい雰囲気は、やはりフランスのもの。シャワーを使いさっぱりしてから、彼女がシャンゼリゼの 400 年前！ からあるという美味しいケーキ屋さんに、連れて行ってくれました。素晴らしい！ お店もケーキも。そして、その夜、旅の最後の晚餐はウサギの煮込み料理！コラリーがおばあ様からの教わったとの事。

Q1 私は、この旅で話す事ができなかったことがとても残念です。もっと言葉が出せたら、深いお話ができたらと残念、でもなんとまあ、出会う方、皆さんがすてきな良い方ばかりだった事か。同行した岩田さんは、本当にまあ 1ヶ月の間、私と一緒によく居られたというのも感心し感謝します。人と人とは、気持があれば繋がっていくものだという実感が持てました。

Q2 サーバスに関してはありません。長くなりましたが、どうぞ宜しくお願いします。

旅行は7. 19~7. 30の12日間でしたので、とっくに帰っています。旅行記は後ほど簡単にまとめて送りますね。今回はサーバス旅行ではありませんが、そもそもの始まりがサーバスなんです。サーバスの関わりで人間関係がこんなにも進展する例としていいお話になるかも知れません。それでは、また。(東海北陸支部長)



撮影 中西敏貴氏